

1/18(月) ~ げきあそび ~

今日はクラスで劇あそびのどんな場面をするか話し合い... 絵本にはない場面を「もしも〇〇が〇〇だったら?」とイメージを伝え合うイメージあそびをしてみました。



今日は「もしも家を作ったのがお菓子の妖精だったら...!」という設定で行いました。

「お菓子は何が好き?」「どうやって作る?」「家にいる時、何でくつろぐ?」「できればお見たいなちやうせん!!(絵本) 最初に伝え合い、いざ劇あそびを行うと、子どもはよく流れをフォローして伝えると、その時、次の時はどうするかを考えると、その時のテーマの良いやつとよのホールが使える時間になよ、広い所でやる~うよと

ホールへ行くと、先にいずみさんが劇あそびをしていてその様子を観ながらニコニコと、そして、あおぞらの巻になると... クラスより広く、

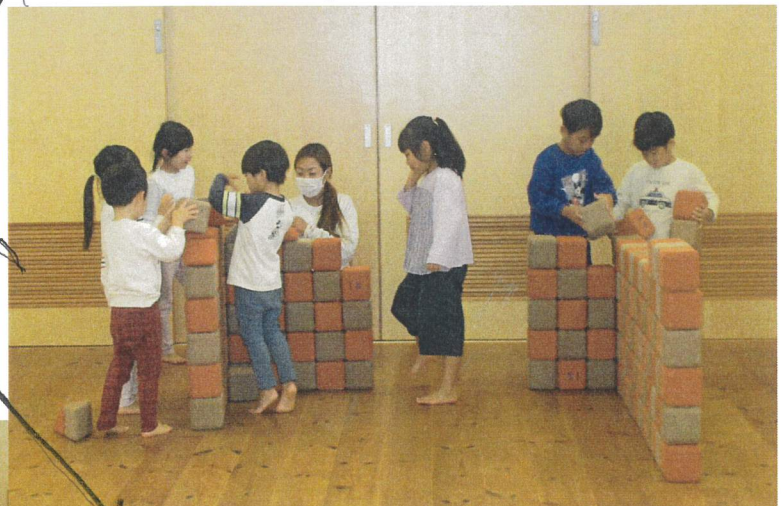
他の先生もいっしょでよそよそしくなる子ども達(笑)

☆ お菓子の妖精が作った、自分たちの好きなお菓子の

- ・クッキー・ホットケーキ・チョコレート・チョコ・ケーキ・かみ 等

味見をしたがる子どもたち。ここでの台詞で...

「でも食べすぎたら虫歯になっちゃうから、もうやめようよ」に笑ってしまいました。



「さ、きみだいによっていいよ」「ステキだったから他の先生にも観せてあげよう」の言葉に照れた表現で「モジモジ・クネクネ... 友達とくっつくあおぞらさんに笑ってしまいました(笑) 今度は最初からおどりのホールでしようか?と話す「うん、〇〇とか(クラスから)持ってくるよな」と前向きな子ども達で。